

平成10年2月13日

## 子育てポンポン第1回「親子ふれあいまつり」開催

13日、豊島区長崎保健所（豊島区長崎3-6）で、「親子ふれあいまつり」が開かれ、近くに住む乳幼児と親300人近くが参加した。この催しは、地域での子育てを支援し、また子育て中の親や子どもどうしの交流の場を作ろうと実施されたもので、主催は長崎保健所・南長崎第二児童館など子育てに関連する施設で組織された「子育て支援サービスネット」。

午前10時から始まった第1部は、家庭内事故を予防するための寸劇。転落・誤飲・やけどなど日常生活に潜む危険を、母と幼児に扮した職員が演じる中で分かりやすく説明した。

続く第2部では、人形を使っての人工呼吸・心臓マッサージ体験が行われた。人形は訓練用の精密なもので、赤ちゃんの人形と5歳児の人形が用意された。お母さん達は職員の説明を聞きながら、真剣に人工呼吸と心臓マッサージの訓練を行った。参加者の一人は「大変勉強になりました。いざという時のために、家に帰ったらもう一度復習したい」と話していた。

その他、幼児向けの本の紹介コーナー、子育て相談コーナー、歯科相談コーナー、手作り工作のコーナーなどが開かれた。

保健所1階のほとんどを使って行われた「親子ふれあいまつり」。どのコーナーも、子どもたちやお母さんたちの楽しそうな声であふれていた。担当の今枝保健婦は、「日頃なかなかお友達を作りにくいお母さん達が、友達の輪を広げ、地域で楽しく子育てをしていくきっかけ作りになれば…」と話している。

「子育て支援サービスネット」は、地域での子育てを支援するために関連施設のネットワークをつくろう、との趣旨で平成8年9月に発足した。構成団体は、長崎保健所・南長崎第二保育園・心身障害者福祉センター・目白図書館・南長崎第一児童館・南長崎第二児童館で、共同事業の開催や子育て情報誌「子育てポンポン」の発行（四半期に1回約300部）などを行っている。

※「子育てポンポン」名称の由来…ポンポン気軽に子育てしよう、子育ての悩みもポンポン言っちゃおう、妊婦さんのおなかはポンポンしているなどから。

詳細：長崎保健所 健康推進課